



日本赤十字社

# 第 65 回定期総会資料

日 時：平成 30 年 5 月 11 日（金） 15：50～17：10

場 所：東京国際フォーラム ホール D-5

総会次第

開会の辞

会長挨拶

表彰

総会議事運営報告

議長選出

議事録署名人選出、書記及び採決係任命

議 事

【第一号議案】平成 29 年度事業経過報告

【第二号議案】平成 29 年度決算報告

【第三号議案】平成 29 年度監査報告

【第四号議案】平成 30 年度事業計画（案）

【第五号議案】平成 30 年度予算（案）

【第六号議案】その他

議長解任

閉会の辞

日本赤十字社診療放射線技師会

表 彰

会員各位

日本赤十字社診療放射線技師会

会 長 安彦 茂

表彰委員長 中山 進

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程により、顕著な功績があったので表彰します。

平成 30 年功労賞被表彰者

(表彰規程第 2 条の 1)

旭川赤十字病院	増田 安彦
釧路赤十字病院	工藤 武志
北見赤十字病院	相澤 幹也
芳賀赤十字病院	山田 隆幸
前橋赤十字病院	久保田利夫
小川赤十字病院	古川 富男
深谷赤十字病院	清水 文孝
富山赤十字病院	安川 孝光
富山赤十字病院	古野 吉尋
福井赤十字病院	平井 克彦
福井赤十字病院	若松敬一郎
名古屋第二赤十字病院	瀬口 繁信
名古屋第二赤十字病院	駒井 一洋
名古屋第二赤十字病院	杉本美津夫
大津赤十字病院	沢尾 誠
大津赤十字病院	津田 康弘
大津赤十字病院	久嶋 康秀
長浜赤十字病院	三輪 和弥
京都第一赤十字病院	井上 孝
京都第一赤十字病院	木下 伸治
神戸赤十字病院	小野寺 尚
松江赤十字病院	坂本 晴夫
山口赤十字病院	中川 明
福岡赤十字病院	山口 英雄
福岡赤十字病院	馬場 啓介

(敬称略、順不同)

平成 30 年奨励賞被表彰者および被表彰施設

(表彰規程第 2 条の 2)

個人表彰の部

足利赤十字病院	大川 公利
小川赤十字病院	田中 達也
高山赤十字病院	今井 丈晴
高山赤十字病院	中井 良則
神戸赤十字病院	辻居 賢一
高松赤十字病院	山花 大典

(敬称略、順不同)

施設表彰の部

足利赤十字病院	放射線科部
---------	-------

平成 30 年感謝状被贈呈者および感謝状被贈呈施設・企業

(表彰規程第 2 条の 3)

該当なし

## 【第一号議案】平成 29 年度事業経過報告

### 総括

本年 2 月に政府の地震調査委員会が、南海トラフの巨大地震が今後 30 年以内に起きる確率を 80%に引き上げることを公表した。東日本大震災から 7 年が過ぎ震災の記憶が薄れてきているが、過去の震災の経験を生かした災害への対応が肝要である。福島第一原発の事故から得られた経験から、原発の過酷事故が発生することを前提にした広域の避難計画や救護活動マニュアルの策定と訓練が必要であることも明らかになった。日本赤十字社は、「原子力災害における救護活動マニュアル」や「原子力災害における救護活動ガイドライン」を策定し、将来起こるかもしれない原子力災害に適切な対応ができるよう救護活動の行動基準を明確に定義した。その中で、救護班の編成にあたり可能な限り診療放射線技師を加え、活動中の安全対策に留意することが明記されており、本会としても原子力災害対応基礎研修会への講師派遣などを実施してきたが、昨年行われた災害支援部と本社との会議で技師会に協力依頼があったため、常任理事会で補正予算措置を講じ、各ブロック研修会において災害支援部講演を拡大して開催した。

本会の活動は、年一回の学術総会、各ブロックの業務研修会・施設代表者会議、専門部の活動が主たるものとなっている。学術総会は約 150 名の参加があり、学術講演やコミュニケーションを学ぶ講演及び研究発表等の構成で実施され、より質の高い内容に進化していることを感じている。また、今回会長として全国 7 ブロックで開催された業務研修会に参加させていただき、本会の現状と課題をお話しさせていただいたが、各ブロックとも研修会の内容に様々な工夫がされており、会員の情報交換も含めて活発な研修会であると感じられた。また、施設代表者会議にも同席させていただき直接会員の皆様から様々なご意見をお聞かせいただいたことは今後の活動に参考になるものと考えている。専門部の活動は、ホームページを利用した情報発信が主なものとなっている。その中で、医療情報専門部の皆様および全国の施設の皆様にご協力いただき、システムマップ作成を行った。このシステムマップは、様々な情報交換の資料として使用するだけでなく、大規模災害発生時に業務支援を実施する際の基本データの一つとして活用されることも期待されている。

技師会ホームページについて、障害発生により現在も一部機能が使用できない状態となっており、ご不便をおかけしたことを深くお詫び申し上げますとともに、一日も早い完全復旧に努めて参ります。また、技師会ホームページを使った活発な情報交換と会の活性化のためにも、会員全員にホームページ登録していただきたいと考えている。

各部の活動については各担当より説明させていただくこととするが、例年より本会の活動にご支援をいただいている日本赤十字本社、物心両面にて支援をいただいている各メーカーに深謝し、平成 29 年度の総括とする。

平成29年度 会長・副会長行動録

会長 安彦 茂

平成29年6月23・24日（金・土）・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会

平成29年6月30日（金）・・・日本赤十字社チーム医療の推進に係る検討委員会（日赤本社）

平成29年7月4日（火）・・・日本赤十字社医療の質向上委員会（日赤本社）

平成29年7月7日（金）・・・第1回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

平成29年9月9・10日（土・日）・・・中部ブロック業務研修会（長野赤十字病院）

平成29年9月30日（土）・・・東北ブロック業務研修会（秋田赤十字病院）

平成29年10月1日（日）・・・北海道ブロック業務研修会（日赤北海道支部：札幌市）

平成29年10月7・8日（土・日）・・・九州ブロック業務研修会（唐津赤十字病院）

平成29年10月2日（月）・・・日本赤十字社医療の質向上委員会（日赤本社）

平成29年10月13日（金）・・・第2回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

平成29年10月23・24日（月・火）・・・日本赤十字社医学会総会（仙台市）

平成29年11月16・17日（木・金）・・・中部ブロック責任者・施設代表者研修会（静岡赤十字病院）

平成29年11月11・12日（土・日）・・・東部ブロック業務研修会（長岡赤十字病院）

平成29年11月25日（土）・・・日本診療放射線技師会 診療放射線技師養成機関・職域団体との懇談会（東京都品川）

平成29年12月9・10日（土・日）・・・中四国ブロック業務研修会（松江赤十字病院）

平成30年1月29日（月）・・・日本赤十字社チーム医療の推進に係る検討委員会（日赤本社）

平成30年2月16日（金）・・・第3回常任理事会（さいたま赤十字病院 会議室）

平成30年2月24・25日（土・日）・・・近畿ブロック業務研修会（高槻赤十字病院）

平成30年2月27日（火）・・・日本赤十字社医療の質向上委員会（日赤本社）

平成30年3月10日（土）・・・専門部会（さいたま赤十字病院）

平成30年4月6日（金）・・・平成29年度 理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

副会長 正者 智昭

平成29年6月23・24日（金・土）・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会  
平成29年7月7日（金）・・・第1回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）  
平成29年10月13日（金）・・・第2回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）  
平成30年2月16日（金）・・・第3回常任理事会（さいたま赤十字病院 会議室）  
平成30年2月23日（金）・・・災害医療支援部会（兵庫県災害医療センター）  
平成30年2月24・25日（土・日）・・・近畿ブロック業務研修会（高槻赤十字病院）  
平成30年3月10日（土）・・・専門部会（さいたま赤十字病院）  
平成30年4月6日（金）・・・平成29年度 理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

副会長 竹安 直行

平成29年6月23・24日（金・土）・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会  
平成29年7月7日（金）・・・第1回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）  
平成29年10月13日（金）・・・第2回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）  
平成30年2月16日（金）・・・第3回常任理事会（さいたま赤十字病院 会議室）  
平成30年3月10日（土）・・・専門部会（さいたま赤十字病院）  
平成30年3月12日（火）・・・IT推進部 ホームページ会議  
平成30年4月6日（金）・・・平成29年度 理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

副会長 荒井 一正

平成29年6月23・24日（金・土）・・・平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会  
平成29年7月7日（金）・・・第1回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）  
平成29年10月13日（金）・・・第2回常任理事会（日本診療放射線技師会 講義室）  
平成30年2月16日（金）・・・第3回常任理事会（さいたま赤十字病院 会議室）  
平成30年3月10日（土）・・・専門部会（さいたま赤十字病院）  
平成30年4月6日（金）・・・平成29年度 理事会（日本診療放射線技師会 講義室）

## 各部事業経過報告

### 1. 総務部報告

#### (1) 日本赤十字社診療放射線技師会第 64 回定期総会の開催

平成 29 年 6 月 23 日（金）15：30～17：00 の日程で、第 64 回定期総会を東京国際フォーラム D-5 ホールにて開催した。

会員表彰に先立ち清水会長によって、「定期総会は我々執行部の通知表だと思っております。オール 5 が取れば良いとは思いますが、それはなかなか難しく及第点を取ればと考えています。及第点が取れば、さらにその上の点数が望め会の発展に繋がっていきます。今年度は役員改選の年であり、さらに先へ進めるような組織運営にしたいと考え、その引継ぎを行っています。」と挨拶がなされた。

会長挨拶後に表彰式が委員長の正者理事により執り行われ、功労賞 15 名、奨励賞 6 名、感謝状被贈呈企業 2 社がそれぞれ表彰された。

(敬称略、順不同)

#### ※功労賞被表彰者 15 名

(栗山) 前川 信秀、(盛岡) 安達 廣司郎、(盛岡) 藤村 貴順、(盛岡) 高橋 義浩、  
(盛岡) 新田 仁、(那須) 高久 道行、(さいたま) 坂口 雅彦、(福井) 石田 智広、  
(飯山) 高澤 茂正、(飯山) 樋田 正彦、(高山) 坂本 清隆、(名古屋第一) 山田 仁一、  
(高知) 秦泉寺 節男、(熊本健康管理) 藤田 清一、(熊本) 白石 修、

#### ※奨励賞被表彰者 6 名

(武蔵野) 増島 一貴、(伊勢) 喜多 真弓、(伊勢) 森嶋 毅行、(伊勢) 柴原 卓彦、  
(伊勢) 林 奈緒子、(神戸) 中田 正明

※感謝状被贈呈企業 2 社 (医療機器貸与による熊本地震災害医療活動へのご協力に対し)

株式会社日立製作所、富士フイルムメディカル株式会社

その後、定期総会議事運営報告（資格審査報告）が事務局の荒井理事より行われ、出席者 141 名、委任状提出者 1334 名、合計 1475 名を得ており定期総会が成立することを確認した。

議事を進めるにあたって、議長に松山赤十字病院 水口司氏、徳島赤十字病院 福井義治氏。そして議事録署名人に水戸赤十字病院 山縣徳治氏、小川赤十字病院 小林教浩氏が会場より選出された。議事は平成 28 年度事業経過報告、決算報告、監査報告、そして平成 29 年度事業計画案、予算案、平成 29・30 年度役員、名誉会員推薦について全てが審議され承認決議された。

#### (2) 平成 29 年学術定期総会収支報告

【第二号議案】平成 29 年学術定期総会収支報告を平成 29 年度決算報告の特別会計として記載。

#### (3) 常任理事会、理事会、定期総会の設定及び議事録の作成

常任理事会を3回および理事会を1回、下記のとおりで開催した。検討事項及び提案事項について審議決議し、それらについて全て議事録を作成そして速やかにホームページに掲載した。

○第1回常任理事会

平成29年7月7日（金）13：00～17：00 日本診療放射線技師会 講義室

○第2回常任理事会

平成29年10月13日（金）13：00～17：00 日本診療放射線技師会 講義室

○第3回常任理事会

平成30年2月16日（金）13：00～17：00 さいたま赤十字病院 会議室

○理事会

平成30年4月6日（金）13：00～17：00 日本診療放射線技師会 講義室

(4) 医療安全対策部会

本社医療事業部医療安全課管轄の医療安全対策部会に本会の尾形理事が出席し、医療安全推進について協議また検討を行った。その内容に関しては、常任理事会で報告され議事録に記載、そしてそれらをHPに掲載した。

○平成29年度第1回医療安全対策部会

平成29年7月25日（火）13：30～15：30 日赤本社 地下A・B会議室

- ・平成29年度日本赤十字社における医療安全事業計画
- ・医療安全対策部会からの報告事項：転倒転落ワーキングについて
- ・「医療事故等の報告および医療事故報告書の開示請求への対応」について
- ・病院賠償責任保険にかかる保険会社の選定計画について

○平成29年度第2回医療安全対策部会

平成30年1月23日（火）15：00～17：30 日赤本社東館2階 視聴覚室

- ・医療安全にかかる平成29年度実績・評価及び平成30年度取り組み（案）
- ・医療事項検討部会に関する報告
- ・転倒転落ワーキングの進捗状況
- ・医療安全管理者養成研修について
- ・平成30年度赤十字医療施設における医療安全対策に関する調査について
- ・知恵の輪 転倒転落を考えたい 等

2. 会員動向報告（平成30年2月16日現在）

会員数	1,541名	男性1,162名	女性379名
新入会員数	13名		
退会会員数	42名		
入会予定者数	58名		
組織率	96.5%		



### 3. 福利厚生報告

慶弔規程に基づき、祝電4通を送付した。

### 4. 学術部報告

平成29年6月23日（金）・24日（土）の2日間、平成29年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を開催した。主な内容は以下の通りである。

本社講演：「質経営のためのTQM活動」

日本赤十字社 医療事業推進本部 総括副本部長 矢野 真 先生

学術講演：「股関節OAから人工股関節（THA）の撮影技術と読影ポイント」

「インプラント周辺の骨変化を描出する臨床画像を知る」

奈良県立医科大学附属病院中央放射線部 副技師長 安藤英次 先生

教育講演：「最強医療コミュニケーション なんてやねん力」

放送作家 漫才セミナー講師 Wマコト 先生

災害支援部報告、チーム医療報告、ランチョンセミナー2題、イブニングセミナー1題

会員研究発表

#### 1. 線条体ファントムを用いた撮像条件の検討

名古屋第一赤十字病院 可児 貴裕

#### 2. 当院におけるFDG-PET検査時の薬剤投与方法の精度について

松江赤十字病院 加茂 紗保子

#### 3. 2channel同時計測によるion chamber の利用可能印可電圧の測定

北見赤十字病院 干川 隆幸

#### 4. 婦人科がん密封小線源治療における独立検証システムの開発

日本赤十字社 和歌山医療センター 小野 智博

#### 5. 単色X線等価画像を利用したワークステーション（WS）業務の作業効率の検討

深谷赤十字病院 長沼 紗由美

#### 6. ボーラストラック法におけるCT値設定の検討

松山赤十字病院 清水 界

#### 7. 低線量肺がんCT健診の質の向上を目指して～10年間の推移と考察～

日本赤十字社 長崎原爆諫早病院 松尾 俊哉

#### 8. 急性期脳梗塞におけるCT Perfusion 処理の時間短縮について

伊勢赤十字病院 幕谷 幸弘

#### 9. 脳CT Perfusion検査における4DCTA画像再構成の時間短縮

伊勢赤十字病院 河口 洋平

#### 10. ADCTを使用した使用列数の違いにおける散乱線量に与える影響の基礎的検討

徳島赤十字病院 笠井 洋平

11. FPDシステムにおける腹部撮影条件の検討

大分赤十字病院 熊谷 誠

12. 散乱線除去用ソフト使用時における画像の黒潰れの検討

広島赤十字・原爆病院 廣田 充宏

13. 胃X線検査における診療放射線技師による「読影補助」の役割

高山赤十字病院 中井 良則

14. MRI対応カプノメーターの使用経験

日本赤十字社 和歌山医療センター 仁木 崇人

15. 一次サーバー導入による紹介患者へのサービス向上

神戸赤十字病院 小川 宗久

16. 中部ブロック・診療放射線技師の人事交流を経験して

高山赤十字病院 中井 良則

【最優秀賞】小川 宗久（神戸赤十字病院）

【優秀賞】幕谷 幸弘（伊勢赤十字病院）、廣田 充宏（広島赤十字・原爆病院）

## 5. 専門部報告

(1) 平成29年度活動案として、専門部活動の活性化を図るために専門部員登録を進めてきた。これまでの専門部（CT、MRI、医療画像情報、乳房画像、治療、核医学）6部門から新たに加わった一般・透視とアンギオの2部門の登録推進を継続して行った。

(2) 各専門部と連携し会員に相互の情報共有のためHP上にて「胸部異物画像」について話題提供した。

(3) 平成29年度 専門部世話人会議

平成30年3月10日（土）14：00～17：00

さいたま赤十字病院 7階 第3会議室

## 6. 災害医療支援部報告

【国内災害】

(1) 被災地病院への診療放射線技師派遣についての本社への働きかけ  
今まで被災地の赤十字病院へ被災地外からの技師派遣はされていなかった。この件について2017年2月、災害医療支援部は診療放射線技師などのメディカルスタッフも被災地病院への派遣対象に加えるよう、本社医療事業推進本部に進言した。

(2) 可搬型デジタルX線撮影装置の活用

東日本大震災の折、（株）キヤノンマーケティングジャパンが5台の可搬型デジタルX線撮影装置（CXDI-50G）を本社に寄贈し、それらは東北各地へ配備されたが、現在は使命を終え本社で保管されている。それらの今後の有効利用方法を本社救護福祉部と協議中である。

【原子力災害】

- (1) 日本赤十字社 平成 29 年度緊急被ばく医療アドバイザー会議出席
- ① 第 1 回 (7 月 6 日・7 日 於：日本赤十字社本社)  
出席者：松井久男・坂井征一郎・高本研二・駒井一洋
  - ② 第 2 回 (12 月 18 日・19 日 於：日本赤十字社本社)  
出席者：松井久男・坂井征一郎・高本研二・駒井一洋
- (2) 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会出席
- ① 第 1 ブロック (6 月 3 日・4 日 於：石巻赤十字病院)  
出席者：松井久男・坂井征一郎・駒井一洋  
特記事項：本社の要請に基づき、災害医療支援部員が、韓国赤十字視察団に対し、別室にて講演、実技指導を行った。
  - ② 第 3 ブロック (6 月 16 日・17 日 於：福井商工会議所)  
出席者：高本研二・駒井一洋
  - ③ 第 5 ブロック (1 月 24 日・25 日 於：松江赤十字病院)  
出席者：松井久男・坂井征一郎・高本研二・駒井一洋
- (3) 日本赤十字社診療放射線技師会ブロック業務研修会において講習会開催
- ① 中部ブロック (9 月 9 日・10 日 於 長野赤十字病院)  
講 師 坂井征一郎・高本研二・駒井一洋  
講義時間 1 時間  
内 容 「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」  
「原子力災害時に対する行政の体制」  
「原子力災害時の救護活動における技師の役割」
  - ② 東北ブロック (9 月 30 日 於 秋田赤十字病院)  
講 師 駒井一洋  
講義時間 45 分  
内 容 ①に同じ
  - ③ 北海道ブロック (9 月 30 日・10 月 1 日 於 日本赤十字社北海道支部)  
講 師 松井久男・坂井征一郎・駒井一洋  
講義時間 1 時間  
内 容 ①に同じ
  - ④ 九州ブロック (10 月 7 日・8 日 於 唐津赤十字病院)  
講 師 松井久男・坂井征一郎・駒井一洋  
講義時間 1 時間  
内 容 ①に同じ
  - ⑤ 中四国ブロック (12 月 9 日・10 日 於 松江赤十字病院)  
講 師 高本研二・駒井一洋

講義時間	1 時間
内 容	①に同じ
⑥ 近畿ブロック	(2月 24 日・25 日 於 メルパルク大阪)
講 師	松井久男・駒井一洋
講義時間	1 時間
内 容	①に同じ

#### 【国際救援】

近畿ブロック業務研修会にて国際救援を主題とした講演会を開催

講 師	口井信孝
講演時間	1 時間
内 容	「国際医療救護活動における診療放射線技師の役割と現状」

#### 【災害医療支援部会】

2018 年 2 月 23 日（金）神戸赤十字病院において開催。

正者副会長をはじめ、全災害医療支援部員が出席。今年度の活動報告・反省と来年度の活動方針などが協議された。

## 7. 広報部報告

(1) 電子会誌 9 号の作成

#### 【会誌内容】

- ・特集テーマ「小児撮影」
    - ①各モダリティの機能について
      - キヤノンメディカルシステムズ株式会社
      - シーメンス・ヘルスケア株式会社
      - 株式会社フィリップス・ジャパン
      - 富士フイルムメディカル株式会社
      - GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
    - ②専門部投稿
  - ・施設紹介
    - ①安曇野赤十字病院
    - ②日本赤十字社長崎原爆諫早病院
  - ・技師長総括
    - ①深谷赤十字病院 清水文孝元技師長
    - ②諏訪赤十字病院 牧内正史元技師長
  - ・本会の動き
- (2) 5 月上旬にホームページに掲載予定

## 8. IT 推進部報告

- (1) 会員 SNS の管理運営を行った。  
入会・退会・お問い合わせへの返信。
- (2) ホームページの更新。  
会長挨拶、役員紹介、概要の更新。
- (3) 会員台帳の一元管理化  
クラウドシステムを利用して共有ファイルを作り一元管理できるようにした。
- (4) サーバー障害の対応。  
障害の連絡および報告。
- (5) 新役員、専門部、ブロック理事、委員のメーリングリストの管理作業。  
登録者の変更および更新作業。
- (6) ホームページ登録会員数（2018 年 3 月 1 日現在）  
現在の登録者数は、1303 名。昨年度は、53 名の登録。  
会員のホームページ登録率は、約 84%。

## 9. チーム医療部報告

- (1) 平成 27 年 12 月から【チーム医療について】の原稿を各施設から募集し、平成 29 年 12 月で終了した。2 年間で 63 施設から提出していただいた。
- (2) 原稿を順次ホームページへ掲載し、vol.56 まで進んだ。
- (3) 平成 29 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、下記のとおりチーム医療の活動報告をしていただいた。
  - ・小川赤十字病院「診療放射線技師と NST」 村田雅弘氏
  - ・庄原赤十字病院「骨粗鬆症リエゾンサービス」 安井哲士氏
  - ・成田赤十字病院「感染対策」 安部沙優花氏
- (4) 集まったチーム医療の活動内容の分類、まとめ等を行った。

## 10. 教育部報告

- (1) 平成 29 年度より発足した。
- (2) 教育に関する事項の整理、教育プログラムについての情報収集を行った。

## 11. 組織調査部報告

- (1) 平成 29 年度 4 月より全国赤十字技師長・課長宛に年度初頭の会員調査を実施し、総会までに新年度の新入会会員（予定者）・退会会員および施設毎の会員と会員数の把握を行い会員台帳にまとめた。
- (2) 組織調査と同時に、第 52 回日本赤十字社医学会総会の発表者の把握を目的に発表者に関する調査を行い、結果を学術部へ報告した。

- (3) 事務局および IT 推進部と連携し、年間を通じて会員の入退会状況の確認作業を行い、本会会員動向の把握に努めた。
- (4) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査を行った。
- (5) 平成 29 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会において、総会のあり方に関するアンケート調査を実施し、結果をホームページに掲載した。
- (6) 平成 29 年 11 月より昨年実施したベンチマーク調査に対してのアンケート調査を実施し、結果をホームページに掲載した。
- (7) 平成 30 年 1 月より全国赤十字施設代表に全国施設代表者会議（仮称）についてのアンケート調査を実施した。

## 12. 表彰部報告

- (1) 平成 28 年度理事会にて、平成 29 年功労賞（表彰規程 2 条 1）被表彰者 15 名、奨励賞（同 2 条 1）被表彰者 6 名、感謝状（同 2 条 3）被表彰企業 2 社を決定した。
- (2) 平成 29 年 6 月 23 日 第 64 回定期総会にて表彰式を執り行った。
- (3) 平成 29 年 11 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日にかけて、平成 30 年功労賞被表彰者および感謝状被贈呈者の推薦を募集した。

## 13. ブロック活動報告

### (1) 北海道ブロック

#### 1. 技師長・課長・職務代行者会議

日 時：平成 29 年 5 月 13 日（土） 13：00～17：30

場 所：札幌市 日本赤十字社北海道支部 北海道看護大学 サテライト室

#### 2. 日本赤十字社診療放射線技師学術総会に会員派遣

日 時：平成 29 年 6 月 23 日（金）～24 日（土）

場 所：東京都 東京国際フォーラム

#### 3. 第 27 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

日 時：平成 29 年 9 月 30 日（土）～10 月 1 日（日）

会 場：札幌市 日本赤十字社北海道支部 奉仕団活動室

出席者：10 施設 26 名

##### ① 会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

##### ② ワークショップ（災害医療支援部 理事）

「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」

「原子力災害に対する行政の体制」

「原子力災害時の救護活動における技師の役割」

長浜赤十字病院 松井 久男

唐津赤十字病院 坂井 征一郎

名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋

③ 教育講演 「一般撮影の見直しの中で」

清水赤十字病院 中川 英之

NTRT（全国 X 線撮影技術読影研究会）世話人

日本診療放射線技師会 骨関節撮影分科会委員

④ 技術交流 「一般撮影における創意工夫など」 各施設発表

⑤ 一般演題発表 7 演題

(2) 東北ブロック

1. 東北ブロック業務研修会・施設代表者会議

日 時：平成 29 年 9 月 30 日（土）

会 場：秋田赤十字病院 多目的ホール

出席者：6 施設 36 名

① 会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 特別講演 「原子力災害時の救護活動における技師の役割」

災害医療支援部理事 駒井 一洋

③ シンポジウム 「産休・育児休暇、前中後の勤務体制について」

八戸赤十字病院 大澤 哲平

盛岡赤十字病院 藤村 貴順

仙台赤十字病院 笹 優子

石巻赤十字病院 高橋 和也

福島赤十字病院 羽貝 寿子

秋田赤十字病院 大隅 康之

④ 教育講演 「富士フィルムの X 線画像処理の変遷と将来への期待」

富士フィルムメディカル株式会社 畔柳 宏之 先生

(3) 東部ブロック

1. 第 1 回東部ブロック施設代表者会議

日 時：平成 29 年 4 月 28 日（金） 13：00～17：00

会 場：さいたま赤十字病院

出席者：15 施設 16 名

2. 第 30 回東部ブロック業務研修会

日 程：平成 29 年 11 月 11 日（土）～12 日（日）

会 場：新潟県長岡市 長岡グランドホテル

当番病院：長岡赤十字病院

出席者：18 施設 79 名

- ① 会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められるもの」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

- ② 特別講演 「人間中心設計 Human Centered Design」

長岡造形大学 学長 和田 裕 先生

- ③ 教育講演 「救急疾患の CT 見逃してはいけない所見、放っておいてよい所見」

長岡赤十字病院 放射線科部長 西原 眞美子 先生

- ④ 第 2 回施設代表者会議

平成 33 年度までの東部ブロック業務研修会当番施設（暫定）の承認  
その他

- ⑤ 一般演題発表 10 演題

一般撮影関係 2 題・医療安全 1 題・放射線治療 2 題  
教育関係 1 題・CT 2 題・MRI 2 題

(4) 中部ブロック

1. 第 8 回中部ブロック業務研修会

日 時：平成 29 年 9 月 9 日（土）13：00 ～ 10 日（日）13：00

会 場：長野赤十字病院 第二研修ホール

出席者：19 施設 65 名

- ①講演会 「救急外来で放射線技師に期待すること」

長野赤十字病院 第一救急部 副部長 山川 耕司 先生

- ②講演会 「働きやすい労働環境を考える」

大宝労務安全研究所 所長 大田 吉宝 先生

- ③演題発表 7 題

- ④分科会（各モダリティ）および職場責任者会議

放射線治療：安定的な放射線治療の提供への取り組み

MR：安全管理（金属・造影剤）

CT：造影 CT と教育体制

核医学：SPECT/CT の運用方法

一般撮影：一般撮影を見直してみよう

- ⑤災害医療支援部講習会 「原子力災害における診療放射線技師の役割」

「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」



「原子力災害時に対する行政の体制について」

「原子力災害時の救護活動における診療放射線技師の役割」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部

名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋

松山赤十字病院 高本 研二

唐津赤十字病院 坂井 征一郎

## 2. 第 4 回中部ブロック技師長・責任者会議

日 時：平成 29 年 11 月 16 日（木）13：00～17 日（金）13：00

会 場：静岡赤十字病院 2 号館 第 1・第 2 会議室

出席者：19 施設 28 名

①会長講演 「これからの日赤の放射線技師が求められるもの」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

②講演 「タバコについて」

静岡赤十字病院 院長 磯部 潔 先生

③講演 「幸せに働ける職場環境を目指して」

産業カウンセラー・看護師 石川 千奈美 先生

④講演 「地域医療連携における画像情報の現状と展望

～ふじのくにねっとの運用事例から～

静岡県立こども病院 放射線技術室 法橋 一生 先生

## (5) 近畿ブロック

### 1. 第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：平成 29 年 9 月 10 日（日） 13：00～16：30

会 場：京都第二赤十字病院 会議室

出席者：13 施設 15 名

### 2. 第 26 回近畿ブロック業務研修会

日 時：平成 30 年 2 月 24 日（土）～25 日（日）

会 場：大阪市淀川区 メルパルク大阪

当番病院：高槻赤十字病院

出席者：18 施設 87 名

① 会長講演 「日本赤十字社診療放射線技師会の今後と課題」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 特別講演 「伸びる選手・伸びる環境」

明治大学附属明治高等学校・中学校サッカー部総監督 神川 明彦 先生

- ③ 特別講演 「国際救護医療活動における診療放射線技師の役割と現状」  
日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部  
日本赤十字社和歌山医療センター 口井 信孝
- ④ 災害医療支援部講習会  
「原子力災害における診療放射線技師の役割」  
「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師」  
「原子力災害時に対する行政の体制について」  
日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部  
名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋  
「原子力災害時の救護活動における診療放射線技師の役割」  
日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部  
長浜赤十字病院 松井 久男
- ⑤ 第 2 回施設代表者会議  
安彦会長にも出席いただき各施設との貴重な意見交換ができた
- ⑥ 一般演題発表 9 演題  
一般撮影 3 題・マンモ 1 題・MRI 2 題・放射線治療 2 題・その他 1 題

## (6) 中四国ブロック

### 1. 中四国ブロック施設代表者会議

日 時：平成 29 年 12 月 9 日（土） 13：00～14：00

会 場：松江赤十字病院 会議室

出席者：12 施設 13 名

### 2. 中四国ブロック業務研修会

日 時：平成 29 年 12 月 9 日（土）～10（日）

会 場：松江赤十字病院 講堂

出席者：50 名

#### ① 会長講演 「日本赤十字社診療放射線技師会の現状と課題」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

#### ② 災害医療支援部講演

「日本赤十字社の原子力災害対策と診療放射線技師会」

「原子力災害に対する行政の対策」

「原子力災害の救護活動における診療放射線技師会の役割」

日本赤十字社診療放射線技師会 災害医療支援部

名古屋第二赤十字病院 駒井 一洋

松山赤十字病院 高本 研二

③研修会企画 「被災施設への放射線部門業務支援について考える」

- ・基調講演 「被災経験施設からの考察」

神戸赤十字病院 浅妻 厚

- ・特別講演 「熊本地震病院支援を経験して～支援の連携とマネージメント～」

松江赤十字病院 看護師 野津 栄子

- ・シンポジウム

一般撮影 高知赤十字病院 小松 克也

CT 検査 徳島赤十字病院 矢野 朋樹

MRI 検査 高松赤十字病院 石井 寛人

転職経験 松江赤十字病院 岩田 幸子

④施設見学

(7) 九州ブロック

1. 第 18 回九州ブロック業務研修会

日 時：平成 29 年 10 月 7 日（土）～8 日（日）

会 場：唐津赤十字病院 佐野講堂

当番病院：唐津赤十字病院

出席者：9 施設 40 名

① 特別講演 I 「これからの日赤の放射線技師が求められること」

日本赤十字社診療放射線技師会 安彦 茂 会長

② 教育講演 I 「メディカルイラストレーションの紹介」

唐津赤十字病院 病理診断部長 明石 道昭 先生

③ 施設代表者会議

④ 施設見学

放射線技術部、被ばく医療施設、WBC デモンストレーション

⑤ 講義 「原子力災害における診療放射線技師の役割」

災害支援部 駒井 一洋

松井 久男

坂井 征一郎

⑥ 会員研究発表 6 演題

⑦ 教育講演 II 「CT 最新技術紹介」

東芝メディカル 小竹 啓介 先生

## 【第二号議案】平成29年度決算報告

## 1. 平成29年度学術定期総会収支報告

## 特別会計

## 平成29年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会 収支報告書

期間 : 自 平成29年6月23日 (金)

至 平成29年6月24日 (土)

会場 : 東京国際フォーラム

## 【収入の部】

金額 (円)

項目	決算額	備考
参加登録費	1,128,000	8,000円×141名
会員情報交換会参加費	220,000	2,000円×110名
協賛企業情報交換会参加費	300,000	10,000円×30名
学術総会助成金	25,766	
計	1,673,766	

## 【支出の部】

金額 (円)

項目	決算額	備考
会場費	293,496	東京国際フォーラムD-5、備品使用料含
情報交換会費	834,452	東京国際フォーラムG-7
運営費	353,800	ランチョンセミナー (会員お弁当代)
招聘費	73,280	講師謝金、旅費
学術発表賞費	25,000	図書カード
会議費	50,000	準備委員、座長 クオカード2,000円×25名
諸経費	20,560	備品
雑費	23,178	懸垂幕、郵送費等
計	1,673,766	

(セミナー企業の支払い分75万円を除く)

## 2. 平成29年度ブロック業務研修会助成金収支報告

日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 北海道ブロック業務研修会 収支報告						
日時：H29/9/30～10/1						
	項目	単価	数量	計	備考	
収入	研修会費	会議費	3,000	25	75,000	
	その他	北海道ブロック活動助成金	200,000	1	200,000	日本赤十字社診療放射線技師会
		前年度繰越金			511	
	計			<b>275,511</b>		
支出	研修会費	会議費・参加費			199,099	会場費、代行者会議費を含む
	講演・発表謝礼	謝礼			65,980	講師謝礼、演者謝礼等
	事務費	事務費			4,094	物品購入（記録メディア、封筒、用紙代等）
		通信費			6,338	案内、関係書類郵送費
		計			<b>275,511</b>	
収支	収支差額			<b>0</b>	次年度繰越金	

日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 東北ブロック業務研修会 収支報告						
日時：H29/9/30						
	項目	単価	数量	計	備考	
収入	研修会費	会議費	4,000	29	116,000	
		参加費	2,000	19	38,000	
	その他	東北ブロック活動助成金	200,000	1	200,000	日本赤十字社診療放射線技師会
		計			<b>354,000</b>	
支出	研修会費	会議費・参加費			296,275	会場費を含む
	講演・発表謝礼	謝礼			48,269	講師謝礼、シンポジスト謝礼等
	事務費	事務費			9,456	物品購入（ファイル等）、写真印刷代を含む
		計			<b>354,000</b>	
収支	収支差額			<b>0</b>	次年度繰越金	

日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 東部ブロック業務研修会 収支報告						
日時：H29/11/11～12						
	項目	単価	数量	計	備考	
収入	研修会費	会議費（両日参加）	8,000	26	208,000	
		会議費（1日目のみ参加）	4,000	4	16,000	
		会議費（2日目のみ参加）	4,000	3	12,000	
		参加費	3,000	49	147,000	
		宿泊費（長岡グランドホテル）	7,900・6,800	53	409,900	7,900×45名・6,800×8名
	その他	東部ブロック活動助成金	200,000	1	200,000	日本赤十字社診療放射線技師会
		東部ブロック研修会助成金	50,000	1	50,000	東部ブロック院長連盟
		コンベンション開催助成金	100,000	1	100,000	長岡市観光コンベンション協会
		計			<b>1,478,900</b>	
支出	研修会費	会議費・参加費	1,322,387		1,322,387	会場費、宿泊費を含む
	講演・発表謝礼	謝礼	90,000		90,000	講師謝礼、発表謝礼
	事務費	事務費	56,113		56,113	物品購入（ファイル等）、機材搬入準備費等
		通信費	10,400		10,400	案内郵送・次期当番病院物品郵送等
		計			<b>1,478,900</b>	
収支	収支差額			<b>0</b>	次年度繰越金	

日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 中部ブロック業務研修会 収支報告						
日時：H29/9/9～10						
収入	項目		単価	数量	計	備考
	研修会費	会議費（両日参加）		2,500	6	15,000
会議費（1日目のみ参加）			500	9	4,500	
会議費（2日目のみ参加）			0	0	0	
参加費			6,000	54	324,000	
その他	中部ブロック活動助成金		200,000	1	200,000	日本赤十字社診療放射線技師会
計					<b>543,500</b>	
支出	研修会費	会議費・参加費			435,929	会場費を含む
	講演・発表謝礼	謝礼			85,000	講師謝礼等
	事務費	事務費			20,931	物品購入（ファイル等）、機材搬入準備費等
		通信費			1,640	案内郵送・次期当番病院物品郵送等
計					<b>543,500</b>	
収支	収支差額				<b>0</b>	次年度繰越金

日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 近畿ブロック業務研修会 収支報告						
日時：H30/2/24～25						
収入	項目		単価	数量	計	備考
	研修会費	会議費・宿泊費		21,000	64	1,344,000
会議費			11,000	23	253,000	
その他	近畿ブロック活動助成金		200,000	1	200,000	日本赤十字社診療放射線技師会
計					<b>1,797,000</b>	
支出	研修会費	会議費・参加費			1,733,376	会場費、宿泊費を含む
	講演・発表謝礼	謝礼			60,000	講師謝礼等
	事務費	事務費			3,500	ホテル打合せ交通費
		通信費			1,060	案内郵送、次期当番病院物品郵送等
計					<b>1,797,936</b>	
収支	収支差額				<b>-936</b>	次年度繰越金

日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 中四国ブロック業務研修会 収支報告						
日時：H29/12/9～10						
収入	項目		単価	数量	計	備考
	研修会費	会議費		5,000	48	240,000
その他	中四国ブロック活動助成金		200,000	1	200,000	日本赤十字社診療放射線技師会
計					<b>440,000</b>	
支出	研修会費	会議費・参加費	368,327		368,327	会場費を含む
		施設代表者会議費	12,356		12,356	会場費を含む
	講演・発表謝礼	謝礼	27,000		27,000	講師謝礼
	事務費	事務費	29,489		29,489	物品購入、機材搬入準備費等
		通信費	2,828		2,828	案内郵送等
計					<b>440,000</b>	
収支	収支差額				<b>0</b>	次年度繰越金

日本赤十字社診療放射線技師会 平成29年度 九州ブロック業務研修会 収支報告						
日時：H29/10/7～8						
収入	項目		単価	数量	計	備考
		研修会費	会議費（両日参加）	3,000	26	78,000
参加費			4,000	39	156,000	
その他		九州ブロック活動助成金	200,000	1	200,000	日本赤十字社診療放射線技師会
		前年度繰越金			141,771	
計					<b>575,771</b>	
支出	研修会費	会議費・参加費			434,041	会場費、参加費、退職者記念品を含む
	講演・発表謝礼	謝礼			54,480	講師謝礼、交通費
	事務費	事務費			918	物品購入（ファイル等）
		通信費			6,316	案内、次期開催病院物品郵送費
計					<b>495,755</b>	
収支	収支差額				<b>80,016</b>	次年度繰越金

## 3. 平成29年度一般会計決算報告書

## 平成29年度一般会計決算報告書

2018年3月31日現在 金額(円)

収 入 の 部				
科目	29年度予算額	29年度決算額	増減	備考
会費	4,530,000	4,581,000	51,000	3,000×1,527名
入会金	90,000	60,000	△ 30,000	1,000×60名
HP広告収入	1,200,000	1,250,000	50,000	広告協賛
雑収入	2,000	15	△ 1,985	
前年度繰越金	2,331,465	2,331,465	0	
合計	8,153,465	8,222,480	69,015	

支 出 の 部				
科目	29年度予算額	29年度決算額	増減	備考
総会費	110,000	128,700	18,700	総会運営費
会議費	2,200,000	1,942,417	△ 257,583	全国理事会、常任理事会費
役員活動費	119,000	122,500	3,500	3,500×35名
ブロック活動費	1,400,000	1,400,000	0	7ブロック
渉外費(旅費)	450,000	439,700	△ 10,300	
表彰部費	250,000	195,391	△ 54,609	賞状副賞・活動費
学術部費	40,000	32,294	△ 7,706	活動費
専門部費	700,000	614,286	△ 85,714	活動費
財務部費	50,000	43,133	△ 6,867	活動費
組織調査部費	10,000	1,654	△ 8,346	活動費
広報部費	50,000	32,998	△ 17,002	活動費
IT推進部費	50,000	19,102	△ 30,898	活動費
災害医療支援部費	450,000	716,394	266,394	活動費
事務局費	300,000	332,503	32,503	活動費・慶弔費
学術総会助成金	40,000	25,766	△ 14,234	
HP管理運営費	600,000	410,400	△ 189,600	構築サーバー利用費、会誌更新費
HP特別積立金	500,000	500,000	0	リニューアル用積立金
基金積立費	100,000	100,000	0	積立て基金へ繰り出し
予備費	734,465	0	△ 734,465	
合計	8,153,465	7,057,238	△ 1,096,227	

(収入8,222,480－支出7,057,238＝残金1,165,242)

残金 1,165,242 円は次年度に繰越し

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財務部 長瀬 光臣



## 4. 平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会 特別積立基金決算報告書

平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会  
特別積立基金決算報告書

2018年3月31日現在

科目	金額	備考
前年度繰越金	750,528	
定期預金利息	65	平成29年度分
平成29年度積立金	100,000	一般会計より繰り入れ
合計	850,593	

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

## 5. 平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会 HP特別積立基金決算報告書

平成29年度日本赤十字社診療放射線技師会  
HP特別積立基金決算報告書

2018年3月31日現在

科目	金額	備考
前年度繰越金	1,000,106	
定期預金利息	86	平成29年度分
平成29年度積立金	500,000	一般会計より繰り入れ
合計	1,500,192	

上記の通り報告いたします。

日本赤十字社診療放射線技師会 会長 安彦 茂

## 【第三号議案】平成 29 年度監査報告

### 監査報告書

日本赤十字社診療放射線技師会会則第 15 条、26 条及び日本赤十字社診療放射線技師会基金運用規約第 7 条に基づき、平成 30 年 4 月 6 日 会長、副会長、財務担当理事等の関係役員立会の下、平成 29 年度の監査を実施しました。

#### 1. 総括

平成 29 年度は、役員改選があり安彦新会長のもと、新たな役員も加わり事業を展開していきました。清水前会長が進めてきた本会活動の三本の矢（ホームページ・ブロック業務研修会・専門部）は、引続き継承されていると思われます。本社との連携、各ブロック業務研修会では補助的な関わりにて連動することができたことと存じます。また、SNS を活用し会員との相互交信し、日本赤十字社診療放射線技師会会員との絆を深めて行かれ、会の運営が遂行されたことを心から感謝申し上げます。

#### 2. 事業

本会の事業は、日常の各施設の職務を全うしながらも執行部の努力にて平成 29 年度事業に基づき、遂行されたものと考えます。

今年度は、本会の事業の一つでもあります原子力災害活動に関する活動を災害医療支援部は各ブロック業務研修会において講義、また平成 27 年度より年間 2 回開催される緊急被ばく医療アドバイザー会議へ本会会員が理事を含め 10 名以上出席し本社との協議・連携しています。

また、各施設で行っているチーム医療の現状を取りまとめてもらいホームページでの紹介作業が大変であったことと推測されます。各役員が、年度事業を確実に遂行されたことに感謝申し上げます。

次年度も引き続き赤十字事業の発展に寄与し、会員相互の親睦を図り目的達成に必要な事業活動を行ってほしいと共に会員諸氏も活動へのご理解を賜りたいと存じます。

#### 3. 会計


会長、副会長、財務担当理事の関係役員立会の下、金銭出納簿、各種請求書及び領収書、預金通帳等を照らし合わせた結果、出納簿等関係書類が適正に処理されていることを確認いたしました。

平成 30 年 4 月 6 日

日本赤十字社診療放射線技師会 監事

磯田康範 

日本赤十字社診療放射線技師会 監事

戸口豊実 

## 【第四号議案】平成 30 年度事業計画案

### 総括

今年度は、2月に韓国・平昌（ピョンチャン）で開催された冬季オリンピックにおいて、冬季の大会では過去最多のメダルを獲得し大いに盛り上がった。医療分野では、4月に医療の将来を左右する「医療と介護の同時改定」が実施されたが、これは 2025 年に団塊の世代が後期高齢者になることで起きる医療と介護の需要増に対応するだけでなく、将来を見据えた地域医療計画を地域毎に策定し実施していくスタートラインとなっている。全国組織の本会は、地域・規模・機能により各施設の診療内容が大きく異なっている上、医療需要の地域差もあり、今回の診療報酬の改定の影響は画一的ではない。しかし、どの施設も医療の質の向上と効率化は必須であり、本会で実施した各施設でのチーム医療の取り組みを参考にして質の向上に役立てていただければ幸いである。

今年度の本会の事業であるが、5月11日（金）12日（土）に学術総会を開催する他、例年同様に専門部活動、ブロック業務研修会、ホームページを活用した活動が大きな柱となっている。また、昨年度災害支援部で実施したブロック業務研修会での講演を、今年度は「国内災害対応について」をテーマにして予定している。その他、ベンチマーク調査を実施する年であるが、昨年度実施したベンチマーク調査に関するアンケートをもとにバージョンアップした内容で実施する予定である。新たに追加された教育部では、各専門部と連携しながら検討を行う予定である。施設代表者会議（仮称）について、昨年度実施した施設代表者会議（仮称）の開催に関するアンケートを参考にし、本社と連携し今年度以降に計画・実施したいと考えている。昨年度技師会のホームページに障害が発生し皆様にご迷惑をおかけしたが、ホームページのセキュリティー強化・使い勝手の向上等を盛り込んだ改修の準備を行いたい。その他、次々年度の学術総会の地方開催に向けて、開催場所の選定等の準備を行う。また、大規模災害発生時の病院業務支援については、本社と連携しながら継続して検討を行う予定である。

今年度も技師会ホームページを通じて、会員の皆様に情報発信を行うとともに会の運営状況を適宜にお伝えしながら引き続き活動を進めてまいりたい所存ですので、どうぞ一層のご協力をお願い申し上げます。また、本会の活動は、会員の皆様だけではなく日本赤十字社の各部門や企業の皆様のご厚情に支えられていることをご理解いただき、今後ともご協力いただくことをお願いしたい。

以上、平成 30 年度事業計画案の総括とする。

## 各部事業計画案

### 1. 総務部活動計画案

#### (1) 平成30年日本赤十字社診療放射線技師学術総会および第65回定期総会の開催

平成30年日本赤十字社診療放射線技師学術総会を東京国際フォーラムD-5ホールで平成30年5月11日（金）、5月12日（土）の二日間にわたり開催。そして第65回定期総会は平成30年5月11日（金）D-5ホールで、そして同日、情報交換会をガラス棟G-7にて開催予定である。

学術定期総会の開催会場および開催日、プログラム等については参加人数、会員アンケート結果により常任理事会で検討を行う。開催会場については、今後さらなる参加者の増加が見込まれ現在手狭となっており、ブロック開催（地方）を含めて検討中である。

#### (2) 平成30年学術定期総会予算報告

平成29年度理事会において、平成30年学術定期総会予算案が審議され全会一致で可決された。【第五号議案】平成30年度予算の特別会計に掲載。

#### (3) 平成30年度の日本赤十字社診療放射線技師会 常任理事会および理事会

常任理事会を3回および理事会を1回開催し、日赤技師会活動の検討事項、提案事項について審議を行う。それらの内容については、議事録を作成し速やかにホームページに掲載する。なお、必要があれば会長の指示のもと臨時常任理事会を管理メーリングリスト上で開催する。

○第1回常任理事会 平成30年7月中旬 開催予定

○第2回常任理事会 平成30年10月中旬 開催予定

○第3回常任理事会 平成31年2月中旬 開催予定

○理事会 平成31年4月初旬 開催予定

○臨時常任理事会 必要時に臨時開催

#### (4) 医療安全対策部会

医療安全対策部会の活動について、日赤本社会議に参加し医療安全全体のことを協議し、放射線に関することがあれば常任理事会およびホームページを通じ継続的に報告していく。

○医療安全対策部会 年2回開催予定（日程未定）

- ・転倒転落予防ワーキングを継続し、ガイドライン作成を行う。
- ・「赤十字医療施設における医療安全対策に関する調査について」検討
- ・医療安全にかかるデータの取り扱いについて検討
- ・平成30年度診療報酬改定に伴う情報発信、取り組みについて
- ・医療安全管理者養成研修（e-ラーニング、集合研修）プログラムの見直し等

### 2. 福利厚生

会員に祝電等の申請をしていただけるように広報していく。

### 3. 学術部活動計画案

平成30年日本赤十字社診療放射線技師学術総会の開催

平成30年5月11日（金）・12日（土）の2日間、東京国際フォーラムD-5にて開催予定である。テーマは「続・医療の質向上を目指して」とし、主な内容は本社講演、学術講演、教育講演、会員研究発表等を予定している。

### 4. 専門部活動計画案

- (1) 各施設からの専門部員登録の促進を図る。専門部の学術向上を基礎とするが、災害支援、医療安全、チーム医療と協調性の認識を強く高めることに努める。
- (2) 専門部世話人の更新
- (3) 各施設の技師長・課長との連携を図る

### 5. 災害医療支援部活動計画案

#### 【国内災害】

- (1) ブロック業務研修会での講習

7ブロック中6ブロックの業務研修会にて、国内災害関連の講習会を行う。

- (2) 病院支援要員の対象拡大

昨年に引き続き、本社に対し病院支援要員の対象にメディカルスタッフを加えることを働きかける。

- (3) 可搬型デジタルX線撮影装置の有効利用

昨年に引き続き、本社救護福祉部との協議により、5台の可搬型デジタルX線撮影装置の配備施設を定めると共に、各ブロック内での有効利用方法を検討する

#### 【原子力災害】

- (1) 緊急被ばく医療アドバイザーとして、引き続き日本赤十字社の原子力災害対応プロジェクトの中核として、他のアドバイザーのリーダーシップを執る。
- (2) 日本赤十字社原子力災害対応基礎研修会への運営協力。
- (3) 上記研修会の教材、資料の見直し。

#### 【国際救援】

一つのブロック業務研修会にて、国際救援関連の講習会を行う。

## 6. 広報部活動計画案

### (1) 電子会誌 10 号の作成

#### 【会誌内容】

- ・特集テーマ「救急撮影」を予定
- ・施設紹介 未定
- ・技師長総括
- ・OB・OG 投稿欄
- ・チーム医療の取り組み
- ・本会の動き
  - ① 平成 30 年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会
  - ② 平成 30 年 日本赤十字社診療放射線技師会 第 65 回定期総会 議事録
  - ③ 各ブロック業務研修会報告
  - ④ 災害医療支援部活動報告
  - ⑤ 専門部活動報告

## 7. IT 推進部活動計画案

### (1) ホームページの変更および更新作業。

- ・会員登録・退会申請作業。
- ・会員 SNS のメーリングリスト整備。
- ・会員 SNS の共有ホルダー整理。
- ・画面構成の維持管理作業。

### (2) ML の更新作業。

### (3) 会員 SNS の早期復旧

- ・セキュリティ対策

## 8. チーム医療活動計画案

(1) 各施設のチーム医療の活動を全国の施設間で共有、展開を推進すべく、専門部はじめ各部と連携し、アンケート調査等を実施していく。またホームページ、電子会誌等を活用していく。

(2) 日本赤十字社医学会総会にて、チーム医療領域で技師会から演題発表を行う。

(3) 活動のまとめをホームページに掲載する。

## 9. 教育部活動計画案

(1) 教育についての現状把握を目的に、各施設にアンケート調査を行う。

(2) 専門部と連携し、教育プログラム等の作成準備を行う。

(3) 全国施設代表者会議（仮称）開催に向けて、日赤施設の教育制度やプログラムの資

料を準備する。

## 10. 組織調査部活動計画案

- (1) 新入会（予定）会員、退会会員、会員数等を調査し会員台帳の情報更新を行う。
- (2) 年間を通じて会員動向の把握に努める。
- (3) 技師長・課長メーリングリスト（ホットクロス ML）の登録情報について調査および管理を行う。
- (4) 平成 30 年日本赤十字社診療放射線技師学術総会にて、総会に関するアンケート調査を実施する。
- (5) 平成 30 年度ベンチマーク調査を行う。

## 11. 表彰部活動計画案

日本赤十字社診療放射線技師会表彰規程に則り、会員からの推薦および学術部との連携により本会に功績のあった会員および施設等の表彰を行う。

会員皆様の情報が重要ですので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

## 12. ブロック活動計画案

### (1) 北海道ブロック

1. 技師長・課長・職務代行者会議

日 時：平成 30 年 4 月 21 日（土） 13：00～17：30 予定

場 所：札幌市 日本赤十字社北海道支部 北海道看護大学 サテライト室

2. 日本赤十字社診療放射線技師学術総会に会員派遣

日 時：平成 30 年 5 月 11 日（金）～12 日（土）

場 所：東京都 東京国際フォーラム

3. 第 28 回北海道ブロック業務研修会並びに総会

日 時：平成 30 年 9 月 29 日（土）～9 月 30 日（日）予定

会 場：未定

開催内容：詳細未定

### (2) 東北ブロック

1. 東北ブロック業務研修会・施設代表者会議

日 時：平成 30 年 10 月 13 日（土）

会 場：仙台市

開催内容：詳細未定

### (3) 東部ブロック

1. 第 1 回東部ブロック施設代表者会議

日 程：平成 30 年 4 月 27 日（金） 13：00～開催予定

会 場：さいたま赤十字病院

2. 第 31 回東部ブロック業務研修会

日 程：平成 30 年 11 月 17 日（土）～18 日（日）

会 場：さいたま赤十字病院

開催内容：詳細未定

### (4) 中部ブロック

1. 第 9 回中部ブロック業務研修会

日 時：平成 30 年 9 月 8 日（土）13：00～9 日（日）13：00

会 場：富山赤十字病院 看護学校 3 階講堂

開催内容：詳細未定

2. 第 5 回中部ブロック技師長・責任者会議

日 時：平成 30 年 11 月 8 日（木）13：00～9 日（金）13：00（予定）

会 場：諏訪赤十字病院 研修センター

開催内容：詳細未定

### (5) 近畿ブロック

1. 第 1 回近畿ブロック施設代表者会議

日 時：平成 30 年 9 月～10 月 開催予定

会 場：大阪赤十字病院

2. 第 27 回近畿ブロック業務研修会・第 2 回近畿ブロック施設代表者会議

日 程：平成 31 年 2 月 予定

会 場：長浜赤十字病院

開催内容：詳細未定

### (6) 中四国ブロック

1. 中国・四国ブロック施設代表者会議

日 時：平成 31 年 2 月頃 開催予定

会 場：徳島赤十字病院



2. 中国・四国ブロック業務研修会

日 程：平成31年2月頃 予定

会 場：徳島赤十字病院

開催内容：詳細未定

(7) 九州ブロック

1. 第19回九州ブロック業務研修会・施設代表者会議

日 時：平成30年10月20日（土）～21日（日）

会 場：長崎市内（未定）

当番病院：長崎原爆病院

開催内容：詳細未定

## 【第五号議案】

## 1. 平成30年学術定期総会予算案

## 特別会計

## 平成30年 日本赤十字社診療放射線技師学術総会 収支予算

期間 : 自 平成30年5月11日 (金)

至 平成30年5月12日 (土)

会場 : 東京国際フォーラム

## 【収入の部】

金額 (円)

項目	予算額	備考
参加登録費	1,160,000	8,000円×145名
会員情報交換会参加費	240,000	2,000円×120名
協賛企業情報交換会参加費	250,000	10,000円×25名
学術総会助成金	50,000	
計	1,700,000	

## 【支出の部】

金額 (円)

項目	予算額	備考
会場費	297,000	東京国際フォーラムD-5、備品使用料含
情報交換会費	840,000	東京国際フォーラムG-7
運営費	366,000	ランチョンセミナー (会員お弁当代)
招聘費	75,000	講師謝金、旅費
会議費	50,000	準備委員、座長謝礼
学術発表賞費	25,000	図書カード
諸経費	22,000	備品
雑費	25,000	懸垂幕、郵送費等
計	1,700,000	

(セミナー企業の支払い分75万円を除く)

## 2. 平成30年度予算(案)

## 平成30年度一般会計予算(案)

金額(円)

収 入 の 部				
科目	29年度予算額	30年度予算案	増減	備考
会費	4,530,000	4,650,000	120,000	3,000×1,550名
入会金	90,000	95,000	5,000	1,000×95名
HP広告収入	1,200,000	1,300,000	100,000	広告協賛
雑収入	2,000	2,000	0	
前年度繰越金	2,331,465	1,165,242	△ 1,166,223	
合計	8,153,465	7,212,242	△ 941,223	

支 出 の 部				
科目	29年度予算額	30年度予算案	増減	備考
総会費	110,000	110,000	0	総会運営費
会議費	2,200,000	2,150,000	△ 50,000	全国理事会, 常任理事会
役員活動費	119,000	122,500	3,500	3,500×35名
ブロック活動費	1,400,000	1,400,000	0	200,000×7ブロック
渉外費(旅費)	450,000	400,000	△ 50,000	本社、ブロック関連、その他
表彰部費	250,000	350,000	100,000	賞状副賞・活動費
学術部費	40,000	40,000	0	活動費
専門部費	700,000	50,000	△ 650,000	活動費
財務部費	50,000	50,000	0	活動費
組織調査部費	10,000	10,000	0	活動費
広報部費	50,000	40,000	△ 10,000	活動費
IT 推進部費	50,000	50,000	0	活動費
災害医療支援部費	450,000	500,000	50,000	活動費
事務局費	300,000	350,000	50,000	活動費・慶弔費
学術総会助成金	40,000	50,000	10,000	学術総会運営費の不足分
HP管理運営費	600,000	500,000	△ 100,000	サーバー利用費、年間保守
HP特別積立金	500,000	500,000	0	
基金積立費	100,000	100,000	0	
予備費	734,465	439,742	△ 294,723	
合計	8,153,465	7,212,242	△ 941,223	

以上、日本赤十字社診療放射線技師会 平成30年度予算(案)を報告します

日本赤十字社診療放射線技師会 会 長 安 彦 茂

財 務 部 長 瀬 光 臣

## 【第六号議案】 その他

## 1. 会費納入規約の改正等について

## 【現行】

## 日本赤十字社診療放射線技師会会費納入規約

(目的)

## 第 1 条

この規約は会費の納入について必要事項を定める。

(会費等)

## 第 2 条

会則第 24 条の会費は年額 3,000 円、入会金は 1,000 円とし入会時に納入するものとする。

(会費納入期限)

## 第 3 条

会費は会則第 7 条に基づき納入するものとする。

(会員資格喪失および復権)

## 第 4 条

会費 3 年間未納者については退会とし、再入会金は 10,000 円とする。

(会費の免除及び申請)

## 第 5 条

本会会員の会費免除に関する規定

1. 本会会員で病氣療養・産休育児休業・海外派遣で 12 ヶ月以上離職した者は、本規約の定めるところにより、会費免除の取り扱いを受けることができる。
2. 本会会員で災害による被災の場合、会費免除の取り扱いを受けることができる。

## 【改正案】

## 日本赤十字社診療放射線技師会会費納入規約

(目的)

## 第 1 条

この規約は日本赤十字社診療放射線技師会会則第 6 条及び第 7 条に基づく入会金及び会費について必要な事項を定める。

(入会金及び会費)

## 第 2 条

会員が納入しなければならない会費は次のとおりとする。

- (1) 入会金 1,000 円
- (2) 年会費 3,000 円

(会費納入期限)

## 第 3 条

会費は会則第 7 条に基づき納入するものとする。

(会員資格の喪失及び復権)

## 第 4 条

会費を 3 年間滞納した者は退会とみなし会員資格を喪失する。

2 前項の規定により会員資格を喪失した元会員が再入会するときは滞納会費と当該年度の会費を納めるものとする。

(会費の免除)

## 第 5 条

会員が次の各号のいずれかに該当する場合は会費免除の取り扱いを受けることができる。

- (1) 産前産後休暇及び育児休業、公症任務、その他の事由等による 12 ヶ月以上の休職。
- (2) 天災その他災害をこうむったとき。

(会費の免除申請)

<p>3. <u>第 1 項から 2 項の規定に基づき、会費免除の取り扱いを受けようとする者は、所定の書式に必要な証明書を添え本会に申請するものとする。</u></p> <p>4. <u>会費免除の可否は常任理事会に諮り承認を得るものとする。</u></p> <p>5. <u>免除及び免除期間は常任理事会で決定し、2 カ年を超えないものとする。</u></p> <p>6. <u>ただし、天災地変、重大な事故、疾病その他これらに類する事象により被災した場合であって、常任理事会に諮ることができない場合は、会長の判断によって当該年度の会費を免除することができる。この場合、後日の常任理事会に報告し承認を得るものとする。</u></p> <p>(改廃)</p> <p>第 6 条 この規約は理事会に諮り総会の承認を得るものとする。</p> <p><b>附 則</b> この規定は昭和 28 年 11 月 16 日より施行する。</p>	<p><b>第 6 条</b> <u>会費免除の申請は当該会員が所属する組織の長（以下「所属長」という）がこれを行う。</u></p> <p>2 所属長は所定の書式に必要な事項を記入し本会に申請する。</p> <p>(免除期間)</p> <p><b>第 7 条</b> 免除期間は <u>3 カ年</u> を超えないものとする。</p> <p>(承認)</p> <p><b>第 8 条</b> <u>第 4 条に定める会員資格の喪失及び復権について、第 6 条に定める会費の免除申請について、第 7 条に定める免除期間について、その他必要な事項については常任理事会で審議しこれを承認する。</u></p> <p>2 第 5 条第 2 号の場合において会費免除の申請が困難な場合又は常任理事会の審議が困難な場合に限り会長の判断によって会費を免除することができる。</p> <p>3 前項の場合において会長は常任理事会に報告し承認を得るものとする。</p> <p>(改廃)</p> <p>第 9 条 この規約は理事会に諮り総会の承認を得るものとする。</p> <p><b>附 則</b> この規定は昭和 28 年 11 月 16 日より施行する。</p>
--	---

昭和 58 年 10 月 26 日改正 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 2 年 4 月 5 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 24 年 5 月 31 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正	昭和 58 年 10 月 26 日改正 昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 2 年 4 月 5 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 24 年 5 月 31 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正 平成 30 年 月 日改正
---	--

2. 日本赤十字社診療放射線技師会会則の改正について

【現行】

【改正案】

日本赤十字社診療放射線技師会会則	日本赤十字社診療放射線技師会会則
<p>第 1 章 総則</p>	<p>第 1 章 総則</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>(入会)</p>	
<p>第 6 条                      本会に入会しようとする者は、会長に対し、所定の入会届により入会申請し、常任理事会で承認を受けなければならない。但し、入会金及び当該年度の会費を納入確認後、入会とする。</p>	
<p>(会費)</p>	
<p>第 7 条                      正会員は別に定める会費をその年度当初に納めるものとする。</p>	<p>(略)</p>
<p>(拠出金等の不返還)</p>	<p>(拠出金等の不返還)</p>
<p>第 10 条  <u>退会または除名された会員がすでに納入した会費は返還しない。</u></p>	<p>第 10 条  <u>会員が納入した</u>会費は返還しない。</p>
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>
<p>第 5 章 資産及び会計                      (資産の構成)</p>	
<p>第 24 条                      本会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。                      1. 会費及び入会金                      2. 資産より生ずる収入                      3. その他の収入</p>	

(略)	(略)
附則 この会則は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。	附則 この会則は昭和 28 年 11 月 15 日より施行する。
昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 21 年 6 月 8 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正 平成 28 年 6 月 3 日改正	昭和 62 年 8 月 27 日改正 平成 10 年 5 月 28 日改正 平成 21 年 6 月 8 日改正 平成 26 年 5 月 23 日改正 平成 28 年 6 月 3 日改正 平成 30 年 月 日改正